

千葉県営水道事業中期経営計画の成果指標と達成指標について

基本目標	主要施策	主な取組	達成指標			成果指標
			指標	目標（5か年）	実績（H26）	
1 「強靱」な水道の構築	(1) 安定給水の確保	①水源の安定化	八ッ場ダム建設事業への参画	八ッ場ダム建設事業への参画 ※評価の対象外	八ッ場ダム事業への引き続きの参画	【八ッ場ダム完成による水源の確保】 目標（5か年）：八ッ場ダムに係る水利権の許可 実績（H26）：－ 【安定給水度】 ・浄水場事故割合 目標（5か年）：0件/年 実績（H26）：0件/年 ・管路の事故割合 目標（5か年）：1.6件/100km以下 実績（H26）：1.0件/100km
		②浄・給水場施設の更新・整備	1) ちば野菊の里浄水場（第2期）施設整備	1) 土木構造物及び建築物の建設完了	1) 実施設計の着手	
			2) 福増浄水場浄水処理改善	2) 新たな脱水施設の稼働	2) （新規事業）	
			3) 柏井浄水場東側施設浄水処理改善	3) 二次ろ過施設の稼働	3) （新規事業）	
		③浄・給水場設備の更新・整備	設備の更新・整備進捗率 （当年度までの完了事業件数 ／5か年の計画事業件数）		100%（19件/19件）	
	④管路の更新・整備		ア) 小中口径鋳鉄管の更新延長	ア) 353.0km（5年間累計）	ア) 66.4km	
			イ) 大口径管の更新延長	イ) 8.2km（5年間累計）	イ) （新規事業）	
		ウ) 基幹管路の整備延長	ウ) 第二北総～成田線の供用開始	ウ) 1.6km		
	(2) 耐震化の推進	①浄・給水場施設の耐震化の推進	浄・給水場施設の耐震施設数	14施設（5年間累計）	4施設	【浄・給水場の耐震化率】 目標（5か年）：99.1% 実績（H26）：94.6% うち、ポンプ棟の耐震化率 目標（5か年）：98.3% 実績（H26）：79.8% 【湾岸埋立地域における管路の耐震化率】 目標（5か年）：51.5% 実績（H26）：30.3% 【管路の耐震化率※】 ※耐震適合管含む 目標（5か年）：23.8% 実績（H26）：17.5%
		②管路の耐震化の推進	ア) 湾岸埋立地域での管路更新延長	ア) 126.2km（5年間累計）	ア) 19.7km	
			イ) 小中口径鋳鉄管の更新延長	イ) 353.0km（5年間累計）	イ) 66.4km	
			ウ) 大口径管の更新延長	ウ) 8.2km（5年間累計）	ウ) （新規事業）	
			エ) 基幹管路の整備延長	エ) 第二北総～成田線の供用開始	エ) 1.6km	
	(3) 危機管理体制の充実	①緊急時に備えた体制の充実	1) 訓練の実施回数	1) 総合訓練 6回/年 テーマ型訓練 104回/年 支援協力員訓練 1回/年	1) 総合訓練 5回 テーマ型訓練 110回 支援協力員訓練 1回	【非常時職員参集管理システム 応答率（1時間以内）】 目標（5か年）：98%以上 実績（H26）：97.9% 資機材の備蓄状況や11市との協議、覆蓋の設置状況等については、全てを網羅する成果指標の設定が困難であることから、本施策については、上記の成果指標のみを設定する。本施策の成果を評価するに当たっては、上記の成果指標の達成状況並びに各取組の達成状況を総合的に評価する。
			2) 備蓄倉庫の建設及び復旧用資材の備蓄状況	2) 備蓄倉庫の建設及び復旧用資材の備蓄完了	2) 幕張備蓄倉庫の設計	
②給水区域内11市等関係団体との連携強化		合同訓練の実施回数	11回/年	11回		
③浄水施設の危機管理対策の強化		浄水場における覆蓋設置状況	柏井浄水場西側施設、北総浄水場、福増浄水場、ちば野菊の里浄水場に覆蓋設置	（新規事業）		

基本目標	主要施策	主な取組	達成指標			成果指標
			指標	目標（5か年）	実績（H26）	
2 「安全」な水の供給	(4) 安全な水づくり	①水源の監視・保全	定期的な水源調査の実施回数 (調査箇所は利根川、江戸川、印旛沼、手賀沼、高滝ダム湖で計32か所)	12回/年(調査箇所あたり)	12回	【水道水における水質基準超過件数】 目標(5か年):0件 実績(H26):0件
		②高度浄水処理の拡充	1)ちば野菊の里浄水場(第2期)施設整備	1)土木構造物及び建築物の建設完了	1)実施設計の着手	
			2)柏井浄水場西側施設埋設汚泥対策	2)対策の完了	2)実証試験の実施	
		③水質管理レベルの維持・向上	ア)水安全計画の見直しの実施状況	ア)見直しを毎年度実施	ア)水安全計画の見直し	
			イ)①水道GLPの認証	イ)①認証の維持・継続	イ)①認証の維持・継続	
			②水質検査機器の更新の実施状況	②計画的な更新の実施	②水質検査機器の更新	
		③水質検査計画の見直しの実施状況	③見直しを毎年度実施	③水質検査計画の更新		
	(5) おいしい水の供給	①おいしい水づくりの技術的な取組	ア)塩素多点注入方式を導入した区域での残留塩素濃度	ア)0.4mg/L	ア)(新規事業)	
			イ)送・配水管の計画洗浄延長	イ)5,000km(5年間累計)	1,216km	
			ウ)①貯水槽水道の適正管理啓発実施率	ウ)①100% (啓発対象:約9,500件)	ウ)①78%	
			②直結給水率	②74.0%	②70.6%	
		②安全でおいしい水キャンペーン	1)イベント参加人数	1)110,000人(5年間累計)	1)24,000人	
			2)水道水の安全性	2)80%	2)76%	
		③お客様とのコミュニケーション	1)おいしい水づくり推進懇話会開催回数	1)12回(5年間累計)	1)3回	
			2)水質検査体験実施件数	2)800件(5年間累計)	②(新規事業)	
				【水道水の飲み水としての満足度】 目標(5か年):80% 実績(H26):75%		
				【水道水のおいしさ】 目標(5か年):55% 実績(H26):47%		

基本目標	主要施策	主な取組	達成指標			成果指標
			指標	目標（5か年）	実績（H26）	
3 お客様からの「信頼」の確保	(6) お客様サービスの推進	①「お客様の声」を活かした事業運営	ア) 各種広報媒体の改善状況	ア) お客様の要望を踏まえた県水だより及びホームページの改善	ア) お客様の要望を踏まえた県水だより及びホームページの改善	【「県水だより」満足度】 目標（5か年）：90% 実績（H26）：88% 【「ホームページ」満足度】 目標（5か年）：78% 実績（H26）：76% 【お客様サービス満足度】 目標（5か年）：90%以上 実績（H26）：88%
			イ) ①アンケート情報収集割合 （給水人口1,000人当たり）	イ) ①1.87件/1,000人	イ) ①2.03件/1,000人	
			②業務改善数	②年間5件以上	②4件	
		②接客マナーの向上	接客サービス推進月間において取組を実施した所属数	54所属	54所属	
		③新たな水道料金システムの開発と上下水道料金徴収一元化の実施	新料金システムの開発	平成30年1月からの運用開始（上下水道料金徴収一元化含む）	新料金システムの仕様細目に係る協議の完了	
	(7) 大規模事業体の責務と社会貢献	①省エネルギー化の推進及び再生可能エネルギーの活用	ア) 省エネルギー化設備率 （省エネ化実施済設備数/省エネ化可能な設備数）	ア) 100%（29設備/29設備）	ア) 45%（13設備/29設備）	【二酸化炭素排出削減量】 目標（5か年）：毎年3,100t-CO2削減 実績（H26）：3,254t-CO2 国際貢献や他事業体への支援などについて、その成果を表す指標の設定が困難であることから、本施策については、二酸化炭素排出削減量のみを成果指標として設定する。本施策の成果を評価するに当たっては、二酸化炭素排出削減量の達成状況並びに取組③の達成状況を総合的に評価する。
			イ) 再生可能エネルギー発電設備活用による発電量	イ) 毎年4,200千kWh以上	イ) 4,326千kWh	
		②資源リサイクルの推進	ア) 浄水場発生土の再資源化率	100%	100%	
			イ) 再利用可能な建設発生土の再資源化率	100%	100%	
			ウ) 建設副産物の再資源化率	100%	100%	
		③県内水道の統合・広域化に向けた検討	統合・広域化に向けた検討状況	検討の推進 ※評価の対象外	関係機関との協議の実施	
		④国際貢献及び他事業体への支援	1) 海外水道事業体への技術支援	1) 積極的な技術支援の実施	1) 積極的な技術支援の実施	
			2) 県内水道事業体へ開放する研修講座数	2) 4講座	(新規事業)	

	主な取組	達成指標			成果指標
		指標	目標（5か年）	実績（H26）	
運営基盤の強化	①実践的な技術研修の実施	1) 希望研修受講率	1) 80%	1) 78%	【基本目標1～3に位置づけた7つの主要施策の達成度】 目標（5か年）：100%
		2) 専門技術研修受講者数	2) 250名（5年間累計）	2) （新規事業）	
	②職員の育成と能力開発	人材育成等を目的とした局独自の研修の実施、改善	局独自の研修の継続、より質の高い効果的な研修を目指した定期的な見直しの実施	局独自の研修の継続、より質の高い効果的な研修を目指した定期的な見直しの実施	
	③計画的な人材確保	事業運営に必要な執行体制の確保	計画的な職員採用等により、平成27年度と同水準以上の職員を確保	計画的な職員採用と他部局との人事交流の実施	
	④民間活力の活用による事業の推進	施工管理業務委託の実施件数	20本以上/年	（新規事業）	
	⑤情報化の推進	1) 情報システム等の整備件数	1) 38件（5年間累計）	1) 1回	
		2) 情報セキュリティ研修等受講者数	2) 750人（5年間累計）	2) 172人	
		3) コンピュータウイルス感染及び情報漏洩件数	3) 0件	3) 0件	
	⑥品質確保に留意したコスト削減	コスト削減実施状況	ア) ライフサイクルコストの低減化	ア) ライフサイクルコストの低減化	
			イ) 経常費用の圧縮	イ) 経常費用の圧縮	
	⑦健全経営の確保	1) 経常収支比率	1) 100%以上	1) 116.6%	
		2) 自己資本構成比率	2) 76.8%以上	2) 76.8%	